

海外の富裕層に影響力のある著名人を招く「第1回ラゲジュアリーライフスタイル国際会議」が2月14日、金沢市の県立美術館で開かれる。県内の旅館や旅行会社、県、金沢市などでつくる「ザ・リアル・ジャパンいしかわプロジェクト推進協議会」が主催する。石川の食や伝統工芸、景観などの観光資源を生かして、どうすれば世界の富裕層を呼び込めるかを探る。

全体消費の2割

外国人記者の視点で石川の魅力をまとめたパンフレットや宿泊施設などの受け入れ態勢作りも進め、「地域活性化の起爆剤にした」と意気込んでいる。

13日に東京都内で開いた記者会見で、同協議会代表で金沢市の旅行会社社長の朽木浩志さん(39)は、世界の旅行者の3%の富裕層が全体の旅行消費額の20%を占めるというデータを示し、「世界の富裕層のマーケットにアプローチしたい」と訴えた。

観光PR 海外富裕層に

来月14日 金沢で国際会議

同協議会によると、富裕層の市場は「ロコモの世界」で、旅行でも環境維持に配慮したり、伝統工芸の工房や酒蔵に個別で訪れたりすることを楽しむなどの傾向があるという。朽木さんは「日本の地方は、富裕層へのアプローチができていなかった。地方がどう映っているのかを学び、情報を共有したい」と述べた。

会議では、高級リゾートホテルを展開する「シック・センス・リゾート・アンド・スパ」の創業者ら富裕層に支持されている外国人3人を招き、講演や対談を行う。コーディネーターは脳科学者の茂木健一郎さんらが務め、国内外の観光関係者を招く。このほか、米国人記者が県内で直接取材したパンフレットを高級ホテルで配ったり、富裕層が望むサービスを東京や京都の一流ホテルの案内役

「コンシェルジュ」に聞いてノウハウをまとめ、関係者の指針にってもらったりする事業を進める予定だ。誘客事業は昨年7月、政府の「地方の元気再生事業」に採択された。県は「5億円の経済効果を上げたい」としている。外国人の国内旅

行費用が平均15万円なのに対し、富裕層は県内で50万円に上るというデータがあり、年間で1000人の誘客を目指すという。